

## 令和4年度第4回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会会議録

議題	(1) 患者支援センターの業務実績について (2) がん相談支援センターの業務実績について (3) 救急搬送状況について (4) その他
日時	令和5年3月8日(金) 午後7時00分 開会 午後7時45分 閉会
場所	ZOOM会議
出席者氏名	大木教久委員長、松井久芳委員、佐藤崇委員、加納健司委員、山口哲也委員、小笹貴夫委員、菅原一郎委員、榎本浩幸委員 事務局(望月病院長、藤浪副院長、岩澤事務局長、栗山診療部長、益原患者支援センター所長、福田中央診療部長、山岡看護部長、江崎患者支援センター担当長、岡野がん相談専従看護師、小川病院経営企画課長、内田医事課長、猪瀬医事課主査)
資料	・ 地域医療支援委員会次第 ・ 資料1-1 紹介率・逆紹介率 ・ 資料1-2 診療科別紹介率・逆紹介率 ・ 資料1-3 紹介元・逆紹介先医療機関一覧 ・ 資料1-4 予約検査の件数表 ・ 資料1-5 患者支援センター相談実績 ・ 資料1-6 地域医療機関と連携した研修会等実績 ・ 資料1-7 登録医救急診察専用回線集計表 ・ 資料1-8 令和5年度地域医療支援行事一覧 ・ 資料2 がん相談支援センター実績報告 ・ 資料3-1 医療機関別救急車搬送患者受け入れ状況 ・ 資料3-2 茅ヶ崎市消防 茅ヶ崎市立病院搬送状況
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0名

<午後7時00分 開会>

○事務局（益原患者支援センター所長）

皆様こんばんは。委員の皆様におかれましては、お忙しいところ茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会にご出席いただきましてありがとうございます。

それでは、ただいまより令和4年度第4回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会を開催いたします。委員数10名に対しまして、本日は今現在、8名の委員にご出席いただいておりますので、委員会が成立いたしますことをご報告いたします。これより先の議事進行につきましては大木委員長にお願いいたします。大木委員長、よろしくお願いいたします。

○大木委員長

円滑な議事進行を心掛けてまいりますので、委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは議題に移ります。まず、議題（1）の患者支援センターの業務実績について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（江崎患者支援センター担当長）

それでは、令和4年4月から令和5年1月の患者支援センター業務実績について、説明させていただきます。

資料1-1をご覧ください。紹介率・逆紹介率の表です。令和4年4月から1月の10ヶ月平均は紹介率が81.8%、逆紹介率は76.0%です。令和3年度平均と比較して紹介率は0.3%の減少し、逆紹介率は6.5%減少しています。患者数のほうでは4月～1月の平均では、初診患者数は1,644名、紹介患者数は1,360名、逆紹介患者数は1,264名となっております。令和3年度と比較しますと初診患者数は142名の増加、紹介患者数は126名の増加、逆紹介数は25名の増加となっております。地域医療支援病院の承認要件である紹介率65%以上、逆紹介率40%以上の基準を満たしております。

資料1-2をご覧ください。令和4年1月と、令和4年4月から1月の累計 診療科別紹介率・逆紹介率の表です。4月から1月の累計で見ますと、紹介率は、呼吸器外科、腎臓内科、リウマチ膠原病内科の順に、また逆紹介率は、代謝内分泌内科、腎臓内科、呼吸器外科の順に高くなっています。紹介患者数の多い診療科は消化器内科、放射線診断科、整形外科の順に、逆紹介患者数の多い診療科は消化器内科、放射線診断科、循環器内科の順に高くなっております。

資料1-3をご覧ください。令和4年4月から1月の累計 紹介元・逆紹介先 医療機関一覧です。紹介元は、医療機関名と紹介患者数、その内の検査件数を表しています。紹介元および逆紹介医療機関共に、やまもと内科クリニック・大木医院・藤川整形外科の順に多くなっています。

資料1-4をご覧ください。予約検査の件数表です。令和4年4月から1月の実績です。前年度の83%に達しているかが目安となりますが、CT、RI、CF、ホルダー心電図、

栄養指導以外は全て83%を越えています。その中で特に、腹部エコー、心臓エコー、筋電図は大きく増加しています。土曜日の検査予約につきましては、4月から1月までに86件の紹介があり、前年度同月と比較し15件減少しています。

資料1-5をご覧ください。令和4年4月から1月までの、月別 相談延べ件数表です。相談には、看護師と社会福祉士が対応しています。相談対応総数は11,116件で、相談内容の多い項目としては、在宅への退院相談に向けての退院相談が最も多く、次にほぼ同数で転院の相談、次に施設退院の順となっています。対応方法は院外関係者との連絡調整が4,715件と多く、次いで電話での相談対応が4,544件となり、次に患者・家族との連絡調整が3,028件となっています。

資料1-6をご覧ください。地域医療機関と連携し、茅ヶ崎市立病院で開催した研修会等の実績です。4月から11月までに18回開催いたしました。内訳は小児科8回、周産期1回、内科外科医会2回、内科医会1回、整形外科1回、地域支援研修会2回となっております。今年度も新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いながら開催しています。今後については感染状況を勘案しながらセミナー等を開催していく予定です。

資料1-7をご覧ください。令和4年4月から1月までの登録医救急診察専用回線の対応件数となります。

対応数は278件で、そのうち入院になったケースが96件で約35%となっています。回線の目的にあった患者さんのご紹介を多くいただいています。診療科では小児科が最も多く、次に内科一般となっています。入電時間は、午前中は11時台、午後は16時台が最も多くなっています。これからもなるべくお待たせすることなく、速やかにご指名の担当科医師につなげられるよう努めて参ります。

資料1-8をご覧ください。今年度の実績を元に令和5年度の地域医療支援行事一覧となります。日程等調整を行い、決定した段階でお伝えしてまいります。

実績の報告は以上となります。

#### ○大木委員長

説明が終わりました。議題(1)について委員の皆様からご意見ご質問をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか

#### ○菅原委員

資料1-3の茅ヶ崎市立病院紹介元・逆紹介一覧の数値が左側と右側が全く同じ数字になっていないでしょうか。

#### ○事務局(江崎患者支援センター担当長)

すいません。

#### ○菅原委員

逆紹介の方の数字が違いますか。

○事務局（江崎患者支援センター担当長）

転記ミスだと思います。申し訳ありません。修正したものを皆様へお送りさせていただきます。

○菅原委員

よろしく申し上げます。今の段階では、逆紹介の正しい数字はありませんか。

○事務局（益原患者支援センター所長）

申し訳ありません。今すぐに手元に用意することができませんので、後日送付させていただきます。

○菅原委員

わかりました。よろしく申し上げます。

○大木委員長

他にございますか。

○大木委員長

資料の1-5の相談日誌のところですか。一覧の中に虐待関係という項目があります。8月だけ13件と吐出していますが、この理由は何だったのでしょうか。詳細な内容がわかれば教えてください。

○事務局（江崎患者支援センター担当長）

すいません。細かい事案の内容までは把握しきれいていません。

○大木委員長

僕も市役所の他の委員会、重心協議会などに医師会代表として出席した時があって、市立病院の小児科の虐待問題を患者家族会のような方達に質問されて、徹底的に調査してほしいと言われたことがありました。その時、僕はそんなことはありえないとその場で答えました。そうそう起きないと思っているので、院内のことではないと思いますけども数字だけ吐出していたので指摘する人はいらっしゃると思います。これが、家族が患者さん本人を虐待しているケースも多々ありますので、そういうことかと思っておりました。

○事務局（江崎患者支援センター担当長）

院内の虐待委員会に私も参加しています。たしか、今年度の虐待件数は5件だったと思います。こちらは、相談件数ですので色々なところからの虐待関係の相談が入ったということだと思います。

○大木委員長

そうであれば安心です。

○大木委員長

他にございますか。

○松井委員

資料とは違いますが、休日の救急対応の際に代表電話に地域医療センターから受診依頼をした時にお断りをされたそうです。結局、辻堂の徳洲会に救急車で搬送された外傷の方がいらしたんですが、救急回線にかけなかったのがいけなかったのでしょうか。

○事務局（江崎患者支援センター担当長）

できれば、日にちと時間を今一度教えていただければ調べることができますので、教えていただけませんか。前回お聞きした日にちで調査をしましたが、電話で相談された場合や患者さんかの相談や診察の記録は全て残されています。その全ての記録の中で該当する項目がなかったのも、日にちが違うのか忙しすぎて記録が残せなかったのかというところが判断しかねています。病院の代表番号にご連絡いただいたということでよろしいでしょうか。いただいたメールには直通電話との記載がありましたので、もしかしたら救急ホットラインにお電話をいただいたのかと思ったのですが。

○松井委員

代表電話の方へかけたそうです。2月の11日です。

○事務局（江崎患者支援センター担当長）

日にちは同じです。もう一度調べてみます。

○松井委員

お願いします。

○大木委員長

他にありますか。

○大木委員長

他になれば議題（1）は終了したいと思います。いかがでしょうか。

○大木委員長

異議なしとのことなので、議題（1）は以上をもちまして終了といたします。次に議題（2）のがん相談支援センターの業務実績について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（岡野がん相談専従看護師）

令和4年4月から令和5年1月までの業務実績についてご説明いたします。

資料2をご覧ください。相談件数は、延べ692件です。支援方法は、対面相談が504件、電話相談が186件、文書相談が2件です。

相談依頼ルートについては、患者さん自身が一番多く327件、次にご家族が133件、医師からの依頼が109件、看護師からが46件ありました。

次に相談内容の内訳です。がんの治療について234件、症状・副作用・後遺症の相談が347件、在宅医療192件、ホスピス緩和ケア109件でした。がんの告知を受け、今後の治療方針がはっきりしないうちに抗がん剤が辛いのではないか、近所の方が辛い思いをされていたので大丈夫なのかなど精査中に相談に来られる方もいらっしゃいます。まずは、お話を伺いながら状況に応じて対応をしています。

今後も引き続き多職種にがん相談支援センターの支援内容を知ってもらえる様に周知活動を続けていきたいと考えます。説明は以上になります。

○大木委員長

説明が終わりました。議題（2）について委員の皆様からのご意見ご質問をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○大木委員長

1人当たりの相談回数が1回の方が非常に多いのですが、5回以上の方も33回。やはりがんの相談は長期化しているのかと感じます。5回以上の方は深刻なケースなのか、わかればお教えいただけますか。

○大木委員長

他に質問がなければ議題（2）は終了したいと思います。いかがでしょうか。

○大木委員長

異議なしとのことなので、議題（2）は以上をもちまして終了いたします。次に議題（3）の救急搬送状況について事務局より説明をお願いします。

○事務局（内田医事課長）

それでは、医事課より救急搬送状況につきましてご説明させていただきます。

資料3-1の上段の表をご覧ください。こちらは、今年4年度の広域化されました茅ヶ崎市消防の搬送件数を搬送先医療機関ごとに月別で集計したものでございます。資料右側の平均の欄をご覧ください。こちらは、今年度1月までの平均値を表したもので、月1、352件のうち445件、割合で32.9%が市立病院に搬送されております。次に多い医療機関として、湘南藤沢徳洲会病院が339件で25.1%、次に湘南東部総合病院の17.6%、次に茅ヶ崎徳洲会病院の11.0%の順となっております。なお、市立病院への搬送件数につきましては、令和3年度と比較しますと2.1ポイントの増加となっております。下段の表につきましては、診療科別に救急搬送件数を表したものとなります。表の右下の欄となりますが、救急車で搬送された患者のうち、入院となった割合が平均で28.0%と

なっております。診療科の状況につきましては、後ほどご覧いただければと思います。

続きまして資料3-2をご覧ください。こちらは、令和4年度の茅ヶ崎市消防による市立病院への搬送件数を地区別に分類したものでございます。資料一番下の合計の欄をご覧ください。茅ヶ崎地区の合計件数3,241件のうち1,072件が市立病院に運ばれており、割合は33.1%となっております。以下、鶴嶺地区からは1,176件で35.2%、松林地区からは1,490件で37.3%、小出地区からは182件で33.6%、寒川地区からは530件で22.2%となっております。また、各地区からの市立病院への搬送件数の割合は、茅ヶ崎地区24.1%、鶴嶺地区26.4%、松林地区33.5%、小出地区4.1%、寒川地区11.9%となりました。資料の説明は以上となります。

○大木委員長

説明が終わりました。議題(3)について委員の皆様からのご意見ご質問をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○大木委員長

他に質問がなければ議題(3)を終了したいと思います。いかがでしょうか。

○大木委員長

異議なしとのことなので、議題(3)は以上をもまして終了いたします。次に議題(4)のその他について、委員の皆様、事務局より何かございますか。

○事務局(益原患者支援センター所長)

市立病院からお知らせがございます。

○事務局(藤浪副院長)

何点かお知らせをいたします。

第一点目です。当院の脳神経外科医が残念ながら、4月から常勤医がいなくなっております。3月の末から外来診療ができなくなっております。突然医局から通達があって、我々もやむなくというところです。次年度以降は、新たな医師の派遣先や今派遣していただいている所から再度派遣していただけないかとお願いしていく予定ですが、現時点では4月からはなくなっております。申し訳ありませんが、ご承知おき下さい。

二点目からは少しいい話題になります。一つは、放射線治療の機械がウクライナの関係で遅れていましたが今月中に納入が決まりました。稼働は5月の中旬頃を予定しています。また改めてご案内させていただきますので、患者さんのご紹介をよろしく願いいたします。

それと最後は、手術支援ロボットのダヴィンチが当院にも入ることになりました。今月の末には納入されます。ただ、洗浄の機械が遅れてまいります。稼働は6月を予定しています。前立腺からを予定しています。今まで先生方がPSAをとって、患者さんがロボットがある所を希望して、生検の段階から他院を紹介されていたケースもあったかもしれま

せん。当院もようやくそこに仲間入りしますし、当院は今まで腹腔鏡でずっとやっていたので、いきなり開腹からダヴィンチではなく腹腔鏡の技術を活かしてダヴィンチを使用します。技術的には自信を持っていますので、是非先生方ご紹介をよろしくお願い致します。また、外科も数ヶ月遅れて直腸の方から始めていく予定です。よろしくお願い致します。お知らせは以上です。

○事務局（益原患者支援センター所長）

引き続きですが、支援センターの方からお知らせがあります。先生方からご依頼いただいております造影CTの同意書を改定いたしました。CTのアレルギーについてヨウド造影剤についてチェックボックスを入れた説明書同意書を新たに作成いたしました。こちらまもなく先生方のお手元に配付させていただく予定ですのでよろしくお願い致します。申込書にも通常造影なのかダイナミック造影、CTアンギオ造影なのかとの項目も付けていますので、こちらの方も是非ご利用ください。何かご不明点があれば支援センターまでご連絡ください。

また、紹介状の事前FAX送付をいただいておりますが、4月1日から循環器内科も拡大させていただきます。循環器内科へ連携枠などを使ってご紹介いただく際には、予め紹介状の事前送付をお願いすることになります。こちらのご依頼も近々先生方にさせていただく予定でございます。よろしくお願い致します。

支援センターからの連絡事項は以上でございます。他に委員の先生方から市立病院へのご要望があれば伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局（益原患者支援センター所長）

よろしいでしょうか。それでは最後に当院の望月病院長から先生方にご挨拶がございます。よろしくお願い致します。

○事務局（望月病院長）

望月病院長から挨拶

○事務局（益原患者支援センター所長）

大木委員長、市立病院からは以上です。

○大木委員長

他に委員の皆様何かございますか。

○大木委員長

今望月病院長からお話がありましたとおり、医師会が30数年以上前から先生には大変お世話になりました。特に院長になられた時から激動で。コロナ禍を初め、経営の問題など非常に大変な時期に院長になられて、うまく乗り切っていただいたのではなかと私も医師会も思っております。本当に感謝申し上げたいと思います。本当にお疲れ様でした。これからも市立病院のためにもご尽力いただければありがたいです。



○大木委員長

以上をもちまして議題は終わりましたので、令和4年度第4回茅ヶ崎市立病院地域医療支援委員会を終了したいと思います。皆様ご協力ありがとうございました。